



日頃より、本校の教育活動に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。本年も、教職員一同、子どもたちのよりよい成長を図る教育活動を邁進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、大相撲の横綱照ノ富士が引退しました。彼は、一度は最高位である「横綱」間近と順調な力士人生を送っていましたが、大きなけがや病気のため、給料がもらえない序二段まで番付を落としました。普通であれば気力がなくなり引退するところ、彼は復活に向けて不屈の精神で厳しい稽古を続け、ついに目標である横綱になれたのです。また、彼は周囲の支えを大切に、感謝の気持ちを忘れない人物でもあるそうです。彼をはじめ、スポーツ選手の生き方からは、「生きた教材」として、子どもたちが描く将来の夢の実現に向けてのヒントがたくさん隠れています。機会があれば、子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

さて、私は始業式の講話で、子どもたちに「しん」と読む3つの漢字を紹介しました。

- 「新」…「新」年を迎え、目標をしっかり定めること
- 「進」…目標達成に向けて、常に前「進」すること
- 「信」…うまくいかなくても、自分を「信」じてあきらめないこと



3学期は、6年生は卒業と中学校進学、1～5年生はそれぞれ進級に向けての大切な時期です。学校は、当学年での学習課題をやり残すことなく終わるとともに、集団(社会)生活だから学ぶことができる、誰とも適切な人間関係を築くために大切な心やスキル、よりよくしようと進んで行動する態度など、引き続き指導・支援して参ります。御家庭におかれましても、お子さまが基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊・自制・自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で、家族のふれ合いを通して行う家庭教育は重要な役割を果たします。御協力よろしくお願いいたします。

先日メールでもお伝えしましたが、全国的にインフルエンザが流行し、県下にも流行に関する警報が発令されています。今後、本校でも感染する児童が増加することが予想されます。お子さまやご家族の方の体調管理に十分ご注意ください。

(校長)

## くめぐみんの川添っ子日記



外国語指導について  
外国語担当

外国語の学習は3年生から始まります。3年生、4年生は基本的な表現や単語を、ゲームや友達との交流を通して学習していきます。ゲームや友達との交流が主なので、外国語の時間を楽しみにしている様子が見えます。

5年生からは正式な教科になるので、学びのたよりの成績に国語や算数などの主要教科と同じように外国語の欄が加わります。そのため、テストも5年生から始まります。テストも聞いて答えるリスニングに加えてアルファベットを書く問題、英語指導補助員と話すテストなどがあります。さらにみんなの前で英語でスピーチする場面も出てくるので、単に楽しいというだけでなく、真剣に取り組まなければ、という雰囲気になります。

6年生になると5年生に加えて、書く内容が増えます。5年生では、アルファベットを書くだけの内容だったものが、つづりを覚える必要はありませんが、文章を書く内容に変わります。

以前に比べると難しくなった小学校の外国語学習ですが、少しでも楽しく学習できるように、ゲームやすごろく、クイズなど、友達との交流を通して、楽しみながら興味をもって英語に親しんでもらえるように取り組んでいます。